

学習設計マニュアルを用いた授業シラバスの例（一部）

評価項目	評価項目の詳細内容	割合
課題提出 (レポート)	授業で取り上げる章7つについての事前課題と省察レポート（10点満点×7回） この科目からの収穫3つを理由付で述べる最終レポート（30点満点） 授業で取り上げる章以外の章についての課題と省察レポート（任意）（加 点対象）	100%
取り組み 方法	テキストの各章には練習問題とその解説がついている。この授業では、授業に出席する前の準備としてテキストの章を1つ読んで練習問題に取り組み、その結果を掲示版に提出する。授業では、事前学習の成果を各自が持ち寄ってグループで議論することで学びを深めていく。自分で学ぶ→みんなで共有する→学びを振り返るのサイクルを経験することを繰り返す中で、自分なりの学びの方法を見つけることを目指してほしい。	

授業回	内容
1.	[予習] テキストの「はじめに」を読んで、テキストにある19章の中で取り組んでみたい章を6つ選ぶ。 [予習] テキスト第1章を読んで、練習問題の答えを掲示版に提出する。 [活動] 授業で取り上げる章6つを投票で決め、それ以外の章の学習計画を立てる [活動] テキスト第1章練習問題の答えの共有（グループ） [復習] 第1回の学びの省察、学習計画の提出
2.~6.	[予習] 授業で取り上げる章その1~5を読んで、練習問題の答えを掲示版に提出する。 [講義] 前回の学びの省察と学習計画についてのコメント [活動] 授業で取り上げる章その1~5の練習問題の答えの共有（グループ） [活動] 授業で取り上げる章以外の章についての学びを計画に沿って進める（個人・グループ） [復習] 今回の学びの省察、学習計画の修正（必要に応じて）
7.	[予習] 授業で取り上げる章その6を読んで、練習問題の答えを掲示版に提出する。 [講義] 第6回の学びの省察についてのコメント [活動] 授業で取り上げる章その6練習問題の答えの共有（グループ） [活動] 授業で取り上げる章以外の章についての学びを計画に沿って進める（個人・グループ） [復習] 第7回の学びの省察、最終レポート「この科目から学んだこと3つは何か（理由付）」

留意事項	授業で取り上げる章その1からその6は、第1回の希望投票によって決めます（第1回で取り上げる第1章以外がどの章になるかは、投票までは分かりません）。テキストには全部で19章あり、そのうち第1章と投票で決める6つの章以外は、自分で計画して自己学習あるいはグループ学習で取り組みます（加点対象になりますが、自主性に任せます）。毎回授業で取り上げる章以外に毎週2章ずつ取り組むと全19章すべてに取り組めますが、その必要はありません。単位取得の最低要件は、授業で取り上げる7つの章についての省察レポートと最終レポートに合格することで、それ以外は任意に取り組めます。どの章も大切な内容ですが、自分でどこまでやるかを決めて、マイペースで取り組んでください。
------	---

参考1（上記のシラバスで実践した結果報告）：鈴木克明（2024）大学入門教育における主体性に委ねる授業の試み —テキスト19章を7回の授業で扱うデザインとその結果— 日本教育工学会 2024年春季全国大会（第44回大会） <https://researchmap.jp/ksuzuki0120/presentations/45712546>

参考2（大学院の基礎科目としての実践例）：鈴木克明，平岡齊士，竹岡 篤永（2024）学び方学習の機会を学び合いを中心にオンラインで提供する試み —熊本大学大学院教授システム学専攻「基盤的学習論」を例に— 日本教育メディア学会 第31回年次大会 <https://researchmap.jp/ksuzuki0120/presentations/48021140>